

## 正誤表（達成状況評価）

68：鳴門教育大学

No.	頁数	誤	正	修正事由
01	P.3	(関連する中期計画2-2-1-1, 3-1-1-1,)	(関連する中期計画2-2-1-1, 3-1-1-1 <del>、</del> )	誤字のため修正
02	P.3	(中期計画3-1-1-2, 3-1-2-1, 3-1-2-2, 3-1-2-3)	( <del>関連する</del> 中期計画3-1-1-2, 3-1-2-1, 3-1-2-2, 3-1-2-3)	脱字のため修正
03	P.11	教科に関する専門性を基板として	教科に関する専門性を <del>基</del> 盤として	誤字のため修正
04	P.11, 14, 22, 24, 42, 43, 45, 51, 59, 60, 62, 63, 65, 66, 67, 71, 73, 76	伸張している。	伸 <del>張</del> している。	誤字のため修正 (個性の伸長に係る計画全て)
05	P.15	学習成果が可視化するという目標を達成している。	学習成果 <del>を</del> 可視化するという目標を達成している。	誤字のため修正
06	P.22	教科に関する専門性を基板として,	教科に関する専門性を <del>基</del> 盤として,	誤字のため修正
07	P.26	カリキュラムに取り込む等で,	カリキュラムに <del>組み込むこと等により,</del>	文章が不明瞭なため修正

## 正誤表（達成状況評価）

08	P.30	学生メッセージを掲載したニューズレターの掲載や、	学生メッセージを掲載したニューズレターの <u>配信</u> や、	誤字のため修正
09	P.31	学生のファンの軽減他や意欲喚起を図り、	学生の <u>不安感</u> の軽減 <u>他</u> や意欲喚起を図り、	誤字のため修正
10	P.37	充実を図り、拡充されたラーニング・コメントが、学生等の利用日数が開室日の70%を超える利用率を引き続き達成していく。	充実を図り、拡充されたラーニング・コメントについて、 <u>引き続き</u> 学生等の利用日数が開室日の70%を超える利用率 <u>となるように</u> していく。	文章が不明瞭なため修正
11	P.38	計画的なインターネット出願へ完全移行と、	計画的なインターネット出願への <u>完全</u> 移行と、	脱字のため修正
12	P.40	本プロジェクトの取組が文部科学省の企画展示の採択等の優れた実績を上げている。	本プロジェクトの取組が文部科学省の企画展示に採択 <u>される</u> 等の優れた実績を上げている。	誤字のため修正
13	P.43	また、構成大学との連携による相互乗り入れ事業の実施により、大学教育にも還元している。	また、構成大学との連携による相互乗り入れ <u>授業</u> の実施により、大学教育にも還元している。	誤字のため修正
14	P.44	教科ごとに授業あり方について提案を行い、	教科ごとに授業 <u>の</u> あり方について提案を行い、	脱字のため修正
15	P.44	教科ごと授業あり方について提案を行うことで、	教科ごと授業 <u>の</u> あり方について提案を行うことで、	脱字のため修正
16	P.46	2019年度時点の平均で62.9%あり、第2期期間中の平均である52%より10ポイント以上増加している。	2019年度時点の平均で <u>64.1</u> %あり、第2期期間中の平均である52%より10ポイント以上増加している。	エビデンス表「各年度認定者数」(P.47記載)と差異があるため修正
17	P.47	2019年度時点の平均で62.9%と、第2期期間中の平均である52%より10ポイント	2019年度時点の平均で <u>64.1</u> %と、第2期期間中の平均である52%より10ポイント	エビデンス表「各年度認定者数」(P.47記載)と差異があるため修正

## 正誤表（達成状況評価）

		以上増加している。	以上増加している。	
18	P.48	4,308件（2019年度末）と6倍以上に増加する	4,308件（2019年度末）と6 <u>倍</u> 以上に増加する	誤字のため修正
19	P.56	領域別の明瞭な自己点検評価を行うようにしたことで、	領域別の明瞭な自己点検 <u>・</u> 評価を行うようにしたことで、	脱字のため修正
20	P.58	「ジュニアドクター育成塾」における受講生の受賞や・・・	「 <u>ジュニアドクター発掘・養成講座</u> 」における受講生の受賞や・・・	誤字のため修正
21	P.63	リーフレット『学校関連による「いじめ防止対策」の充実を!』を作成し、	リーフレット『学校 <u>間連携</u> による「いじめ防止対策」の充実を!』を作成し、	誤字のため修正
22	P.65	連携を深めることで教職過程の高度化を図った。	連携を深めることで教職 <u>課</u> 程の高度化を図った。	誤字のため修正
23	P.65	サテライト会場を活用した現職教育への研修について、	サテライト会場を活用した現職教 <u>員</u> への研修について、	誤字のため修正
24	P.67	教員に寄与するための研修を企画・実施する。（◆）	教員に寄与するための研修を企画・実施する。（◆）（★）	「個性の伸長に向けた取組」に係る記号の記載漏れのため修正 ※2020年7月14日に、貴機構担当者から確認のメールがあり、本学から記載漏れであることを連絡済み。
25	P.69	国際学術協定の交流事業に基づく外国人研究者	国際学術 <u>交</u> 流協定の交流事業に基づく外国人研究者	脱字のため修正